

様式（細則 5-2）

平成 26 年 3 月 19 日

浜田市議会議長 原田 義則 様

議員名

串崎 利行



調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため視察等を行ったので、その結果を報告します。
会派 創風会

記

1. 期間 平成 26 年 2 月 5 日～2 月 7 日

2. 視察又は訪問先

(1) 大分県玖珠郡九重町 エルランチョグランデ

内容 乗馬施設とまちづくりの関わり合いについて

(2) 熊本県阿蘇市 阿蘇市役所

内容 地域ブランド戦略について、「然」の取組について

(3) 福岡県宗像市 道の駅 むなかた

内容 施設見学等

3. 調査経費 31,221 円

4. 各視察先の調査内容

【九重町 エルランチョ グランデ】取締役瀬戸年美 氏

〈1〉 視察に至った経緯

金城町の乗馬施設、金城ウェスタンライディングパークが、新たな指定管理者の元、リニューアルされました。

この施設が浜田市の新たな集客施設として、生まれ変わり、地域が活性化する事を願い、先進事例のウェスタン乗馬牧場エルランチョグランデの取組みを視察した。



〈2〉 調査項目

- ① 施設見学【大分県玖珠郡九重町田野 1726-320 ウェスタン乗馬牧場エルランチョグランデ】
- ② 乗馬施設とまちづくりの関わり合いについて

視察当日は、大雪で周辺施設も観光客が居ない状況でした。そのような中、瀬戸代表を含め数人のスタッフで施設を見せて貰いました。

簡素では有るが、宿泊施設を併設した学習施設として整備され、建物の配置等創意工夫が見られた。

オープン当初、周辺の食事をする所は4軒しか無く、レストランを併設し顧客ニーズに対応していたが、観光客も増え食事処が増え出したので、乗馬施設本来の業務に専念、周辺のホテルへ顧客を紹介し、ワインワインの関係作りで地域と共に発展をし、冬場の閑散期は最低限のランニングコストのみで、施設やホテルもサービスを提供する事で、地域と共同体の意識が醸成された。

牧場体験で修学旅行等も受け入れ、ホースセラピーを取り入れて、障がいの有る方の様々なニーズにも対応している。

〈3〉 所感（まとめ）

浜田市の、金城ウェスタンライディングパークは、日本一の設備の施設であり、上手く経営をすれば必ず黒字なると話され、その為には、市の協力、地元の盛り上り、市議会議員も顔を出す事が大切であるとも言われた。馬と町おこし、地元にある温泉（宿泊施設）、ゴルフ場等を上手く利用する事が大事であると感じた。

ビデオ鑑賞があり、乗馬が障がい者のリハビリに役立つ事を改めて認識した。いわみ福祉会の経営になり、障がい者をメインにしていく事も考えるべきと話された。瀬戸代表の話を聞いていれば、馬と町おこしで、浜田市が活性化に繋がると感じた。



雪のエルランチョグランデ



瀬戸代表の講演

【阿蘇市 阿蘇市役所】

阿蘇市議会議長

阿南誠蔵 氏

経済部 観光まちづくり課

課長 吉良玲二 氏

クリップ株式会社

代表取締役 曽谷哲朗 氏

〈1〉 視察に至った経緯

久保田市長が元気な浜田づくりを掲げられ、第一に産業振興と言われました。また、浜田の宝探しもするとの事で、参考になる熊本阿蘇市の取組み事例を、視察致しました。

昨年の10月より始まった『然』の取組みは、マスコミにも取上げられ、全国から注目される所となっています。阿蘇市役所を訪問し、これまでの取組みを伺いました。

調査項目

- ・行政は、あくまでも裏方であり、主役は市民並びに生産者。
- ・街の原作を作ることで、周りの人が自由な発想で阿蘇に来てもらえる。
- ・商品ではなく「阿蘇に住んでいる人」「阿蘇で精算している人」をターゲットにしたブランド戦略の確立。
- ・本来、街がもっている「力」を發揮できるような「元気」を上手に引き出す対策。
- ・行政はあくまでもコーディネートであり、個別の商品販売や個別の販路開拓は事業者が行う。
- ・実績ある民間の政策プランナーがいることで、都市部が求めている情報や人脈を活用。
- ・全国に認知された後の取り組みの模索。

将来像

阿蘇市は、世界最大級のカルデラを有する雄大な阿蘇の自然景観、伸びやかに広がる田園風景、阿蘇神社などの歴史遺産や暮らしに根付いた文化・伝承等、数々の優れた資源に恵まれた地域です。また、阿蘇地域の中にあって、

九州の南北、東西交流の拠点に位置し、熊本県内でも最大の観光入り込みを誇っています。

このようなことから、阿蘇市の将来像を、「縁いきづく火の神の里～豊かな自然と笑顔あふれる国際環境観光都市を目指して～」と設定されました。

将来像の実現にあっては、地域の特性を活かしながら、均衡のとれた新しいまちづくりを進めることを施策展開の基本とされています。

「阿蘇の自然と共生する環境都市づくり」

「元気あふれる産業の育成」

「魅力あふれる大阿蘇の観光地づくり」

「笑顔でつなぐ情報通信のまちづくり」

「安心して暮らせる快適なまちづくり」

「個性あふれる生涯学習都市づくり」

「住民参加による自立したまちづくりの推進」

の7つを新しいまちづくりの基本施策とし、展開においては、年齢や性別、能力等にかかわらず、誰もが安心して暮らせる環境づくりを目指す「ユニバーサルデザイン」の考えを導入されています。

〈2〉所感（まとめ）

観光資源はあるが、10年～20年観光地で残っていく為には地域が潤っていかなければならない。その為には、ブランド、原作作りが大事。恵みのブランド「然」は、自然の魅力、人も魅力を併せ、クリエイティブディレクター 曽谷哲朗氏が発案され、マスコミに取り上げられ有名になったと聞きました。

浜田市にもブランド戦略は大切と感じ、いまある、魚・神楽等では無く違った目線からのアイデアが必要と感じ、曾谷氏なら浜田市のブランド名をどうつけられるか興味がありました。

火の国 阿蘇の
恵みのブランド



【福岡県宗像市】

株式会社まちづくり宗像 常務取締役 藤岡末英 氏

〈1〉 観察に至った経緯

(株) まちづくり宗像、道の駅むなかた（現地観察）

①施設見学 ②開設から現在までの経緯と取組

『道の駅むなかた』は平成15年4月に旧宗像市と旧玄海町が対等合併し新市まちづくり計画の中から、生まれました。

宗像市の商工会、観光協会、農業協同組合、二つの漁業協同組合（宗像、鐘崎）で平成19年10月（株）まちづくり宗像を設立、平成20年に福岡県内10番目の道の駅としてオープンしました。

オープン当初から、予想を上回る来客数と売上で、毎年右肩上がりとなっています。

浜田市において、同様の施設、道の駅夕日パーク浜田と、しまねお魚センターが有りますが、近年は客数と売上の減少が続き、厳しい経営状況であります。

道の駅むなかたの経営のノウハウと商品構成等を観察し、浜田と地理的に似通った海山の産物が豊富な、宗像市の道の駅むなかたから、学ぶべきものが有ると考え、この観察を行った。

〈2〉 調査項目

福岡県宗像市 道の駅むなかた（現地観察）

① 施設見学

② 株まちづくり宗像の取組

現地説明者 株まちづくり宗像 常務取締役

駅長 藤岡 末英 氏

〒811-3502 福岡県宗像市江口 1172 番地

TEL0940-62-2715 fax0940-62-3874

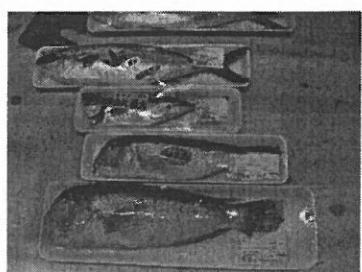
① 施設見学



館内(売場とレジ)



生産者の写真



鮮度第一の魚(釣り)

② 事業取り組みの状況

- 基本的に商品は、市内の生産者又は市内で加工された物に限る。
- 生産者と直接契約、会社としては仕入れ無し、委託料 12% <最大 16%> が収入源。
- 生産者が直接持込んだ、釣り物の魚と朝採れの野菜、その加工品の販売。
- 商品はその日で完売(POSで売上状況を把握し生産者にメールで通知)、売れ残りは生産者がその日に持帰る。
- 支払いは月末締めの翌月 10 日払い
- 毎月各種の研修会を生産者向けに開催、品質の向上と販促に研鑽している

③ 施設の運営状況

- 営業時間：10月～5月（9時～17時）6月～9月（8時半～17時）
- 休館日：毎月第4月曜日
- 売上：平成20年12億8千万円、平成24年16億4千万円
- 来場者数：平成20年139万人、平成24年163万人
- 客数：平成20年63万人、平成24年75万人
- 客単価：平均2300円（他所より1000円高い）
- 購買層：50代以上が半分を占める
- 地域性：市街88%（福岡23%北九州35%筑豊20%その他22%）市内12%
- 部門別売上：水産物37.2%・農産物32.4%・加工品28.1%・他工芸品
- 宗像市に指定管理料として1100万円/年、収益の30%を寄付（平成24年度1000万円）株主に10万円/年の商品券
- 現在利益剰余金は2億円積立

〈3〉 所感（まとめ）

「道の駅むなかた」は、市・商工会・観光協会・農協・漁協で取締役をし、館長には、スーパーマーケット店長経験者約100人の応募から選ばれている。売上平成20年、目標7億5千万円に対し、12億8千万円約170%、平成25年売上17億円の見込みと聞く。しまねお魚センター活性化に取組む中で沢山勉強する事があると感じた。生産農家が採りたての野菜・果物を直接並べ、魚も朝とれたイキの良いものを直接並べ、仕入はしない。客は、リピーターが多く、特に高齢者、時間・お金・健康を考える。約一時間以内の客が多く

ドライブ感覚で来られる。レストラン「おふくろ食堂 はまゆう」棚に一品料理が沢山並べてあり、トレーに自分の好きなものを選ぶ、魚、野菜等新鮮であり、庶民的である。近くにあればまた行きたいと感じる。今回の施政方針「浜田漁港エリアの活性化」を行うに当り参考する点は多いと感じた。

